

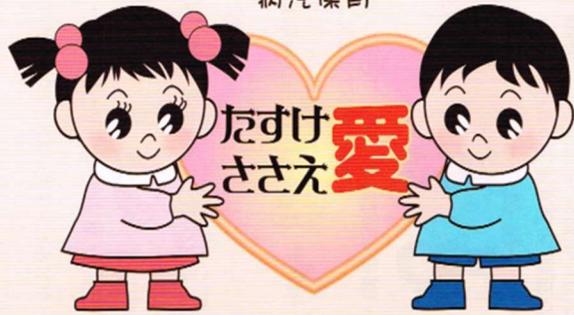
鹿児島県感染症情報

2022年	(報告週)	第26週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	咽頭結膜熱	53	1.00	835
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0.34	500
	○ 感染性胃腸炎	373	7.04	9,991
	○ 水痘	2	0.04	119
	○ 手足口病	165	3.11	1,459
	○ 伝染性紅斑	1	0.02	15
	○ 突発性発しん	28	0.53	542
	○ ヘルパンギーナ	23	0.43	176
	流行性耳下腺炎	2	0.04	59
	RSウイルス感染症	6	0.11	719
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	1	0.14	65
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	-	-	8
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	○ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.08	3
報告数合計		673	0	14,504

○印は前週比増

あいあいきっず

— 病児保育 —

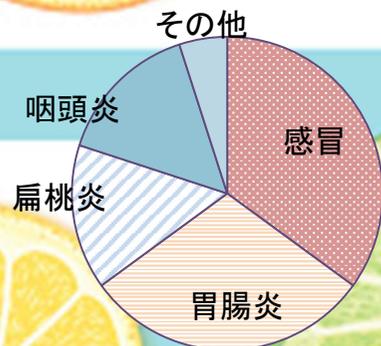


令和4年7月号

あつという間に梅雨が過ぎ去り、暑さに体が慣れる前に夏がやってきました。熱中症予防と新型コロナウイルス対策の両方が必要とされます。屋外で人との距離がとれている時は、マスクを外すようにしましょう。皮膚からの熱がマスク内でもこもり、体温調節がしづらくなります。また、咽が乾いていなくてもこまめな水分と適度な塩分を心がけ、屋外活動は無理をしないことも大切です。

さて新型コロナウイルスの感染が急拡大し、第7波に入ったと言われています。これまで行ってきた換気やワクチン接種等の、基本的感染対策を徹底していきましょう。また、この時期に流行する手足口病・アデノウイルス感染症の利用も徐々に増えてきました。いずれも手洗い等の手指消毒は有効ですので継続しましょう。

7月利用児病名割合



お休みのご案内

クリニック休診の為

8月12日(金)

お盆休み

8月13日(土)~15日(月)



手足口病

潜伏期間 3~6日

症状 手のひらや足・口の中に2~3ミリの水泡性発疹
ごくまれに髄膜炎や脳炎などが生じることあるので、嘔吐・頭痛などの症状がある場合は注意が必要です

感染経路 飛沫・接触・糞口感染

手洗い励行 排泄物の適切な処理

登園許可 発熱等の症状が治まり普段の食事がとれれば登園可

予約受付時間7:30~20:00(月~土)

(水曜日を除く)

病児病後児保育あいあいきっず

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^-^)

